

2019年10月29日

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ
株式会社博報堂D Yアウトドア

**博報堂D Yメディアパートナーズと博報堂DYアウトドア、
タクシー車内のデジタルサイネージ動画広告配信サービス「DiDi TV」の販売を開始**

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下博報堂D Yメディアパートナーズ）と株式会社博報堂D Yアウトドア（本社：東京都港区、社長：水野勝太、以下博報堂D Yアウトドア）は、DiDiモビリティジャパン株式会社が提供する、タクシー車内の後部座席に設置したデジタルサイネージによる動画広告配信サービス「DiDi TV」の販売を開始いたします。

「DiDi TV」は、タクシー車内の後部座席に設置したデジタルサイネージを通して、東京、大阪、名古屋など、主要都市圏で幅広くリーチすることが可能なメディアです。また、3大都市圏をはじめ、京都、兵庫、広島、福岡、北海道など、全国各地で随時配信エリアの拡大を予定しています。

博報堂D Yメディアパートナーズと博報堂D Yアウトドアは、「DiDi TV」の広告枠販売について、ODM領域における幹事代理店として販売を行います。

博報堂D Yメディアパートナーズと博報堂D Yアウトドアは、ODM領域において、広告主の多様化するニーズに応えるための最適な広告サービスの提供に取り組んでまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先：

博報堂D Yメディアパートナーズ 広報室 山崎・関原 電話：03-6441-9347

博報堂D Yアウトドア 滝・冷泉 電話：03-6441-9552

【DiDiモビリティジャパン株式会社の概要】

本社：〒102-0083東京都千代田区麹町6-6

代表者：シュ・ケイシ（Stephen Zhu）

設立：2018年6月28日

【DiDi TVの概要】

The graphic for DiDi TV features the logo at the top left. Below it, the text reads: "タクシーの移動時間を、もっと楽しく。「ワクワク」と出会う、新しいタクシーエンターテインメント。" (Make taxi travel time more enjoyable. Meet "Wakuwaku", a new taxi entertainment.) It then describes DiDi TV as a service to make taxi travel more enjoyable with content like business, travel, food, entertainment, and sports. It also mentions that it changes the taxi travel time from boring to exciting with new information and content. The bottom part of the graphic shows a person using the app and a taxi with the DiDi TV screen displaying a cityscape and Mount Fuji.

DiDi TV

タクシーの移動時間を、もっと楽しく。
「ワクワク」と出会う、
新しいタクシーエンターテインメント。

DiDi TVは、
移動時間をとことん楽しむための、
今までにないタクシーサイネージ。

ビジネスはもちろん、
旅行、フード、エンタメ、スポーツも。

退屈だったタクシーの移動時間を、
新しい情報や刺激的なコンテンツと出会う時間に
変えていきます。

乗るたびにワクワクする。また乗りたくなる。
タクシーの移動時間に、新しい楽しさを。

- ・月間想定リーチ人数 140万人（※1）
- ・タブレット設置台数 3,500台（※2）
- ・訪日中国旅行者のうちDiDiを利用するユーザー 590万人
- ・タクシー平均利用時間18分

配車アプリサービスの「DiDiアプリ」においては、2018年に日本でのサービスをローンチ後、一般的なタクシー利用者であるビジネスパーソンだけではなく、若い女性ユーザーの高い利用率を獲得しており、2019年7月には、開始後10ヶ月で配車アプリとしてダウンロード数No.1を獲得。

加えて、アプリによる乗車数は、東京、大阪を中心とした複数キャンペーンを実施し、2019年7月までの約10ヶ月で乗車数は36倍に成長している。

今後も、積極的なパートナーシップの提携やユーザー向けのキャンペーンも展開し、一般のタクシー利用者と異なるユーザーを獲得し、メディアのオーディエンスを拡大していく予定。

（※1）ハイヤータクシー年鑑2018年版 統計データより算出。

（※2）2019年12月時点のタブレット設置台数となります。